

平成 27 年度理事会

新理事・新監事・新オブザーバーのご紹介 (①抱負, ②現所属名, 職名, 学位, ③略歴, ④研究テーマ, ⑤趣味, ⑥主な著書, ⑦連絡先 (E-mail), 等について簡単にご紹介します)

<p>理事</p> <p style="text-align: center;">たかはし けんぞう 高橋 健三</p> <p>①企業所属理事として、アカデミアと企業とが連携して日本薬理学会の発展や革新的創薬に繋がられるように、微力ではありますが、企業研究者の視点から取り組んで参ります。②大正製薬株式会社、セルフメディケーション研究開発本部、本部長、医学博士。③1982年東北大学薬学部卒業、'84年東北大学大学院薬学研究科修士課程修了、大正製薬入社、'84~'86年東北大学医学部出向、'89年学位取得(東北大学)、'01~'03年米国国立衛生研究所(NIH)留学、'08年開発薬理研究室長、'11年薬理機能研究所長、'13年医薬研究本部副本部長、'15年より現職。④循環器薬理、その他いろいろ。⑤家族旅行、映画、週1回のジム通い。 ⑦ken-takahashi@so.taisho.co.jp</p>	
<p>監事</p> <p style="text-align: center;">たまき としあき 玉置 俊晃</p> <p>①日本薬理学会の監事に2度目の就任をしました。日本薬理学会が、会員の皆様のために、世界の研究者との連携協力や一般の皆様への社会貢献などに大いに貢献できる組織になるように、活発で健全な運営ができるように努力します。②徳島大学大学院医歯薬学総合研究部 薬理学分野、教授、医学博士。③1977年徳島大学医学部医学科卒業、'77~'84年泌尿器科医師、'85年香川医科大学薬理学講座助手、'92年同助教授、'96年徳島大学医学部教授、'85~'87年テキサス大学サンアントニオ校腎臓内科学留学。'09~'13年医学部長・大学院医科学教育部長④腎臓薬理学・生理学、循環器障害と酸化ストレス。⑤町ブラ、食べ歩き飲み歩き。⑥医科薬理学、疾患と臨床薬理(分担)。⑦tamaki@tokushima-u.ac.jp</p>	
<p>オブザーバー</p> <p>次期年会長</p> <p style="text-align: center;">うへだ ひろし 植田 弘師</p> <p>①2017年の日本薬理学会年会のお世話をさせていただきます。日本薬理学会がより一層発展できるように努めてゆきたいと考えています。②長崎大学大学院医歯薬学総合研究科創薬薬理学研究室、教授、薬学博士。③1976年京都大学薬学部卒、'81年同大学薬学研究科博士後期課程修了、横浜市立大学医学部、京都大学薬学部助手、横浜市立大学助教授、'96年長崎大学薬学部教授を経て'02年現職。④慢性疼痛の分子機構と創薬、脳を守るプロサイモシナルファの神経生物学と創薬、感染症・放射線障害創薬拠点。⑤バラ栽培・庭草木の手入れと長崎さるく「グルメ版」。⑥はじめての痛み学(おうふう)、NEW薬理学(麻薬性鎮痛薬)の分担執筆。 ⑦ueda@nagasaki-u.ac.jp</p>	